


※世界一いらない前書き

腋とは…！  
許されし不可侵領域  
見えはすれど見てはならず  
しかし魅せることで  
魅力を表現せし秘部  
この見え方を巡って  
争いがたえない…

ポルシコスキー







身体全体を伸ばすことで  
腋のラインもまた違った  
趣を出すことが出来る  
ここはお尻までのラインで  
腋と言っても過言ではない  
くらいに重要である。

元気なのもポイント



このようにダイナミックに  
下から見る角度も中々である。  
腋という特性上  
下から見るのが基本ではあるので  
その近くの南半球の  
見え方もまた重要である。



両腕を上げて両方の腋が  
角度を変えて見えるのも良い。  
違う奥行きを感じながら  
目移りするのも素晴らしい。  
その間にあるのが胸というのも  
なお良いのである。



嫌な顔をされながら  
見る腋は  
最高を乗り越して

「桃源郷」

と表現した方が良く  
くらいである。

現実ではよくある  
かもしれない。




腋プラス眼鏡というのも有名な組み合わせである。

この両手広げるポーズで両方の腋を魅せる構図も手前奥の奥行きを感じ取れる良さがある。

とても開放的でよいだろう。

自然な腕の角度で  
ちらっとだけ見える腋が  
一番素晴らしいと思います。

描く場合は折角だからと  
大々的に描きがちですが  
このくらいの見え具合が  
丁度良いのです。



棒立ちに腋を  
加えることで  
なんとも表情のある  
構図になることか。


腋とは正面からでも  
映える部位なのである。

だから素晴らしい。

見え具合が同じでも  
違う表情になるのが  
腋なのだ！

腕を降ろした状態で  
下から見える腋  
プラス蔑みは

もはや何も  
言うことは  
ない！



黒髪クールに  
腋はとてもよくあう。  
普段見せそうにないキャラが  
ちょっとだけ見せても  
下品ではない部分とは  
腋じかないのだ。



もはや穴空が  
いならいくらいに  
エロい衣装

目がハートとの  
相性がよいのも  
腋の特徴の一つ。



日焼け跡と言えば

腋！

という程に夏は  
必ず組み合わせられるだろう。

おっぱいが白ければ  
腋の奥深さが増すのだ。



腰のひねりと言えば…


もうおわかりだね、

そう腋だ。

腰をひねることで  
腋からしたに伸びるラインに  
文字通りひねりが出てきて  
一味違った魅力がでるのだ。

水と言えば腋だ。  
腋という性質上  
水分との相性は  
とても良い。  
濡らしてこそ  
腋と推奨する  
専門家も多い  
わたしも  
その  
一人だ






髪を上げる仕草と言え  
腋というほどこのポーズは  
使われている。  
そこに胸の動きも加えることで  
更に腋の魅力を  
引き立たせることができる。



胸が大きくて  
腋が見えにくいというのは  
演出的に素晴らしい。  
見えにくくなることで  
奥の腋を想像出来るのだ。  
一段階上の楽しみ方である。



腋と言えば  
活発なイメージもある。  
激しく動きすぎたために  
見えてしまったというシチュも  
もえるものである。  
ここはあえてもえるを平仮名にした。



腋にも反射光をつけると  
より奥行きが増す。  
腋はやはり奥があればこそ。  
ただの平たい皮膚  
ではないのだ。



眩しい！

と言えば

そう…腋だね！

タンクトップは  
腋が見えるとても代表的な衣服  
この組み合わせは数ある  
腋見せ衣服の中でも  
最強と名高い



その場合は  
やはり南半球も  
見せておくべきである



簡素に表現する腋もある。  
その場合は身体のラインが  
大切である。



少し擦れて  
せばまっている腋が  
一番見どころがあると  
言われている。  
その隙間をさらに想像させる  
隠れ家的人気があるのだ。



背中と言えば

そう…わk…

もういいでしょ!!